



CHAPTER 6

Cisco Unity と Unity Connection Server の設定

Cisco Unity Server

Cisco Unity は、コールを受け、グリーティングを再生し、ボイスメールを記録および符号化します。Cisco Unity はボイスメールを受信すると、電子メールに .wav ファイルを追加し、それを設定された電子メール アカウントに送信します。Cisco Unity は、メッセージ保管用のメールストア サーバとして使用するために Microsoft Exchange サーバにユーザ メールボックスを作成します。

Cisco Unified Communications Integration for Cisco WebEx Connect ユーザがボイスメールを聞く場合、Cisco Unified Communications Integration を使用して、IMAP 経由でメールストア サーバからそれらを取得します。

Cisco Unified Communications Integration は Cisco Unity ユニファイドメッセージと Cisco Unity ボイス メッセージの両方の設定をサポートします。ユニファイド メッセージでは、Exchange Server 電子メール アカウントはボイスメールと電子メールの両方をサポートします。ボイス メッセージでは、Exchange Server 電子メール アカウントにはボイスメール メッセージだけが含まれています。

はじめに

- Cisco Unity のサポートされるリリースをインストールし、設定します。
- Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity を統合します。両サーバとも、ボイスメール ポートを設定するように、インストールされ、稼働している必要があります。
- SSL を使用してメールストア サーバとのセキュアな伝送を実現する場合は、インストールまたはアップグレード時に（あるいは、インストールまたはアップグレードの完了後の任意の時点で）、SSL を使用するように Cisco Unity を設定する必要があります。認証局として機能するようにサーバを指定し、証明書要求を送信し、証明書を発行して Cisco Unity サーバにインストールする必要があります。

手順

ステップ 1 IMAP 仮想サーバを使用するように Microsoft Exchange サーバを設定します。

このリリースを設定するには	操作内容
Microsoft Exchange 2003	<ol style="list-style-type: none"> [Start] > [All Programs] > [Microsoft Exchange] > [System Manager] を選択します。 [System Manager] の左側のセクションで、[Servers] を展開します。 サーバ名を選択します。 [Protocols] > [IMAP] を選択します。 右クリックし、[Start Server] を選択します。
Microsoft Exchange 2007	<ol style="list-style-type: none"> [Start] > [Run] を選択し、「services.msc」と入力し、[OK] をクリックします。 [Microsoft Exchange IMAP4] サービスを選択し、[Start] をクリックします。このサービスはデフォルトでは開始されません。

ステップ 2 ポートおよび暗号化タイプを設定します。

このサーバを設定するには	操作内容
Microsoft Exchange 2003	<ol style="list-style-type: none"> [IMAP Virtual Server] を右クリックし、[Properties] を選択します。 [Access] タブから [Authentication] をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> [Requires SSL/TLS Encryption] がオフで、TCP および SSL 接続を使用するようになっていることを確認します。 [Requires SSL/TLS Encryption] がオンで、SSL だけを使用するようになっていることを確認します。 [OK] を選択します。
Microsoft Exchange 2007	<ol style="list-style-type: none"> [Start] > [Programs] > [Microsoft Exchange Server 2007] > [Exchange Management Shell] を選択します。 Exchange PowerShell 経由で IMAP4 サービスを実行しているクライアントアクセスサーバの認証設定を指定します。 注：Microsoft Exchange 2007 はデフォルトで SSL を使用します。 適切に設定するために次のコマンドのいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> プレーンテキストログインの場合：set-imapsettings -LoginType PlainTextLogin SSL の場合：set-imapsettings -LoginType SecureLogin

ステップ 3 ユーザを設定します。

- ユーザが既存の Cisco Unity ユーザである場合、ユーザを Cisco Unified Communications Manager データベースと Cisco Unified Presence に追加します。

- ユーザが新規ユーザの場合、ユーザを Cisco Unified Communications Manager データベース、Cisco Unity (これはユーザを Exchange と Active Directory に追加する)、Cisco Unified Presence に追加します。

ステップ 4 新規および既存のユーザのメールボックスを作成します。詳細については、Exchange Server のマニュアルを参照してください。

ステップ 5 (オプション) 次の手順に従って安全なメッセージ機能をイネーブルにします。

- a. ユーザ テンプレートに変更を加えるには、[Subscribers] > [Subscribers] > [Features] を選択します。

ここで加えた変更は、このテンプレートを使用して作成された既存のユーザ アカウントには適用されません。変更後にこのテンプレートを使用して作成されるユーザ アカウントにだけ適用されます。

- b. 安全なメッセージ機能を有効にするには、[Message Security When Sending a Message] リストからオプションを選択します。たとえば、[Encrypt All Messages] を選択します。

この設定では、ユーザがメッセージを他のユーザに送信するときにメッセージを暗号化するかどうかを指定します。

- c. [Save] を選択します。

- d. 適宜ユーザまたはユーザ テンプレートを追加するには、これらの手順を繰り返します。

ステップ 6 (オプション) 身元不明発信者からのメッセージに対して安全なメッセージ機能を有効にします。

- a. [System] > [Configuration] > [Message Security Settings] を選択します。

- b. 身元不明発信者からのメッセージを暗号化するかどうかを指定します。リストからオプションを選択します。

- c. [Save] を選択します。

トラブルシューティングのヒント

Cisco Unified Communications Integration ユーザは [Cisco Unified Communications Integration Preferences] ウィンドウに Cisco Unity 資格情報を入力する必要があります。

Cisco Unity Connection Server

Cisco Unity Connection は Cisco Unified Communications Integration for Cisco WebEx Connect ユーザに Cisco Unified Communications Integration インターフェイスから、ボイスメール メッセージを表示、再生、ソート、削除する機能を提供します。

はじめに

- Cisco Unity Connection のサポートされるリリースをインストールし、設定します。
- Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection を統合します。両サーバとも、ボイスメール ポートを設定するように、インストールされ、稼動している必要があります。

手順

ステップ 1 新規のユーザを追加します。

- a. 左側のセクションの [Users] を展開します。
- b. [New User] を選択します。
- c. [Edit] > [Password Settings] を選択します。

- d. [Choose Password] ドロップダウンボックスで、[Web Application] を選択します。
- e. [User Must Change at Next Sign-In] を選択解除します。
- f. [Save] をクリックします。
- g. [Edit] > [Change Password] を選択します。
- h. 新しいパスワードを設定します。

ステップ 2 ユーザを設定します。

ユーザが既存の Cisco Unity Connection ユーザの場合、それらを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加します。

ユーザが新しい Cisco Unified Communications Integration ユーザの場合、ユーザを Cisco Unified Communications Manager データベースと Cisco Unity Connection に追加します。

ステップ 3 (オプション) 次の手順に従って、ユーザに対する不明な発信者からのメッセージのセキュリティの処理方法を指定します。

- a. 左側のセクションの [Users] を展開します。
- b. [User] を選択します。
- c. ユーザのエイリアスを選択します。
- d. [Edit] > [Message Settings] を選択します。
[Unidentified Callers Message Security] で、[Mark Secure] チェックボックスをオンにします。

手順

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で新規または既存のサービス クラスをセットアップして、Internet Mail Access Protocol (IMAP) クライアントからボイス メッセージにアクセスできるようにします。

- a. 左側のセクションの [Class of Service] を展開します。
- b. [Class of Service] を選択します。
- c. [Search Class of Service] ウィンドウの [Search Results] テーブル内で適切なサービス クラスの表示名を選択します。
- d. [Features] の下にある [Allow Users to Use Unified Client to Access Voice Mail] チェックボックスをオンにします。
- e. [Licensed Features] の下にある [Allow Users to Access VoiceMail Using an IMAP Client] チェックボックスをオンにします。
- f. [Allow Users to Access Message Bodies] を選択します。
- g. [Save] を選択します。

ステップ 2 (オプション) 次の手順に従って安全なメッセージ機能をイネーブルにします。

- a. 左側のセクションの [Class of Service] を展開します。
- b. [Class of Service] を選択します。
- c. [Message Options] セクション内の [Require Secure Messaging] のオプションを選択して、セキュアなメッセージを有効にします。

ステップ 3 Cisco Unity Connection サーバで、Cisco Unified Communications Integration ユーザごとにボイスメールボックスを使用して、Connection ユーザ アカウントを作成します。



(注)

Cisco Unity Connection のユーザ ID は Cisco Unified Presence または Cisco Unified Communications Integration のユーザ ID と一致している必要はありません。Cisco Unified Communications Integration には独立したボイスメール ID があり、これは、アプリケーションの [Preference] ウィンドウで設定します。ただし、Cisco Unified Communications システム全体で同じユーザ ID を使うことは役に立つことがあります。

ステップ 4 まだ存在しない場合は、Cisco Unity Connection の管理ページで適用可能なユーザ アカウントの Web アプリケーション パスワードを指定します。

トラブルシューティングのヒント

- ユーザは、Cisco Unified Communications Integration アプリケーションで、ボイスメール資格情報、つまり、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。
- サーバへの問い合わせが可能で、ユーザ資格情報が正しいにもかかわらず、ボイスメール メッセージがダウンロードされない場合は、次の手順を実行します。
 - ポート 7993 の設定をチェックします。Cisco Unity Connection がポート 7993 でリスンしていることを確認します。
 - ファイアウォールの設定を確認します。リモート コンピュータから、Cisco Unified Communications Integration を実行しているコンピュータに Telnet を実行し、ファイアウォールに接続できることを確認します。Cisco Unified クライアント サービス フレームワーク 実行可能ファイル (connect.exe) が、該当するサーバとポートで TCP、TLS、SSL を使用して、IMAP ネットワーク接続を確立することを許可します。

ボイスメール機能をイネーブルにする

- ステップ 1** [Class of Service] ページ > [Voicemail User COS] を開きます。
- ステップ 2** [Licensed Features] セクションで、次の 2 つのオプションをオンにします。
- ステップ 3** Allow Users to Access Voice Mail Using an IMAP Client and/or Single Inbox
- ステップ 4** Allow Users to Use the Messaging Inbox and RSS Feeds

Cisco Unity を使用した導入のための Microsoft Exchange の IMAP セキュリティ設定の確認

はじめに

このトピックの情報に関する質問は、Microsoft Exchange 管理者または Cisco Unity 管理者に問い合わせてください。

手順

- ステップ 1** IMAP がセキュアか非セキュアかを確認します。
- Microsoft Exchange 2003 の場合 :
- a. [Start] > [All Programs] > [Microsoft Exchange] > [System Manager] を選択します。
 - b. [Administrative Groups] > [First Administrative Group] > [Servers] > [<サーバ名>] > [Protocols] > [IMAP4] を選択します。

- c. [Default IMAP4 Virtual Server] を右クリックし、[Properties] を選択します。
- d. [Access Control] セクションで [Access] を選択し、[Authentication] を選択します。
- e. [Requires SSL/TLS encryption] 選択されていることを確認します。

Microsoft Exchange 2007 の場合は、[Start] > [All Programs] > [Microsoft Exchange Server 2007] > [Exchange Management Console] で、関連の設定に移動します。

ステップ 2 Internet Information Services (IIS) のセキュリティ設定を確認します。

- a. [Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Internet Information Services (IIS) Manager] を選択します。
- b. [<コンピュータ名>(local computer)] > [Web Sites] > [Default Web Site] を選択します。
- c. [Default Web Site] を右クリックし、[Properties] を選択します。
- d. [Directory Services] を選択します。
- e. [Secure Communications] セクションで、[Edit] を選択します。
- f. [Require secure channel (SSL)] が有効であるかを確認します。

次の作業

IMAP がセキュアな場合、ボイスメール アダプタを設定する際に、[Transport Type] で [TLS] を選択する必要があります。それ以外の場合は [TCP] を選択します。

TLS を選択する場合

- [Trust Policy] を [Trusted Certificates] に設定したセキュリティ コンテキストを指定します。
- Exchange Server によって証明書を交換します。
- Cisco Unified Mobility Advantage との証明書の交換については、次のセキュリティに関するドキュメント モジュールを参照してください。
- http://www.cisco.com/en/US/products/ps7270/products_installation_and_configuration_guides_list.html